

編集後記

今年も暑い夏を迎えました。地域によっては、高い節電目標が設定され、計画停電実施の可能性もあり、先行き不透明で不安な日々を過ごされている方が多いかと思えます。私も昨年、計画停電や節電を経験しました。公私ともに大変でしたが、研究者としての自分の役割について考えさせられた時期でもありました。熱、化学、材料などを勉強してきた自分にも、エネルギー問題や省エネ問題に対して何かできることがあるはずであると。しかし、これまで強く意識してこなかったテーマに対して簡単にアイデアが浮かぶはずもありません。結局、問題意識を持って日々勉強していくしかないという結論に至り、自分の勉強不足を痛感するだけです。ところで、熱測定学会には様々な問題意識を持った、様々な分野の研究者が集まっています。その発表の場である「熱測定」誌や熱測定討論会は、私にとって、社会に存在する様々な問題を知り、研究のヒントを得るために非常に有用です。

本号には4件の解説記事を掲載しました。この4件はいずれも材料に関する解説記事となっています。小林先生の解説は、[有機一次元細孔物質/有機ラジカル]包接体というユニークな新物質に関するものであり、新しい分子設計のヒントを与えてくれます。八島先生の解説は、強誘電セラミックスの精密な結晶構造解析と電子密度解析に関するものです。化学者にとってなじみ深く、しかし少し抽象的な概念である共有結合性/イオン結合性が強誘電発現に重要であることが述べられています。松岡先生の解説は、ガラスの熱伝導特性に関するものです。熱伝導率を決定するフォノンの平均自由行程が化学結合の切断や局所的な振動数の分布と関連しているという、説得力のある解釈がなされています。隅山先生の解説は、熱膨張係数の低いインバー合金、強磁場下でも使用できる温度センサーに関するものであり、優れた材料の開発指針についてヒントが得られます。このように、材料分野だけをとりても、新物質の開発から、構造解析、物性測定、さらには実用化まで、バラエティに富んだ記事が掲載されるところが「熱測定」誌の一つの魅力ではないかと思えます。編集委員一同、皆様からの投稿をお待ちしております。

(京免 徹)

【複写される方へ】 Notice about photocopying

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写して下さい。但し(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません。(社外頒布用の複写は許諾が必要です。)

権利委託先：(中法) 学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル, TEL. 03-3475-5618, FAX. 03-3475-5619, E-mail: info@jaacc.jp

なお、著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、直接発行団体へご連絡ください。また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc., 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, U.S.A. FAX. +1-978-646-8600

2012年度「熱測定」編集委員会

(委員長) 小川 英生

(編集委員) 飯島 正徳, 飯島 美夏, 乾 隆, 京免 徹, 清水 由隆, 橋本 拓也, 森川 淳子

(拡大編集委員) 内山 進, 川上 亘作, 中別府 修, 林 英子, 本多 英彦

熱測定 Vol.39, No.3, 2012

昭和 52 年 5 月 27 日 第 4 種郵便物 (学術刊行物) 認可

平成 24 年 7 月 20 日 印刷

平成 24 年 7 月 25 日 発行

発行人 日本熱測定学会 猿山 靖夫

事務局 〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-6-7 宮沢ビル 601
TEL. 03-5821-7120 FAX. 03-5821-7439 E-mail: netsu@mbd.nifty.com

熱測定原稿 E-mail: edit@netsu.org

学会ホームページ <http://www.netsu.org/>

郵便振替口座 00190-5-110303